

本会記事

2023 年度春季大会報告

2023 年度春季大会は、6 月 6 日（火）～8 日（木）の 3 日間、早稲田大学国際会議場において行われました。今回の講演発表件数は、受賞記念講演 3 件、特別講演 5 件、招待講演 10 件、一般講演 114 件の合計 132 件、3 日間の参加者数は約 380 名でした。

早稲田大学国際会議場での大会は平成 29 年の春季大会以来、6 年ぶりの開催です。今年の 3 月にマスク着用が個人の判断に変更となり、また、5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行となりました。多くの方が、マスクなしで会話され、参加者皆様の表情をより感じる事ができ、コロナ前の日常を徐々に取り戻しつつあるように思います。



今回の講演大会では、8 つの講演特集と一般講演の発表がありました。講演特集「各種粉末の焼結技術および焼結機構の新たな展開」は大会中聴講者数が最も多く、最高 120 人の参加がありました。続いて、講演特集「粉末製造技術とその応用」が最高 90 人と、会場はほぼ満席で立ち見ができる状態でした。粉末冶金技術に対する皆様の探求の現れであると感じました。

また、大会初日には、日本粉末冶金工業会の工業会賞受賞記念特別セッションがありました。同セッションは、当協会と日本粉末冶金工業会の連携強化の一環として行われています。2020 年度秋季大会以降は、オンラインでの開催のため、PDF 資料のみでしたが、ようやく現地で発表頂くことができ、講演会場同様多くの参加者で井深大記念ホールが賑わっていました。

また、セッション後、2023 年度定時社員総会、2022 年度協会賞受賞式を開催しました。昨年までの 2 年間はオンラインでの受賞式となり、久しぶりの対面による開催で、園田会長から賞牌を直接お渡しすることができました。2022 年度協会賞受賞者の皆様、この度はおめでとうございます。

協会賞受賞式後は、場所を移動して早稲田大学大隈ガーデンハウスにて懇親会を行いました。約 140 名の方にご参加頂く中、懇親会は目義雄実行委員長の開会の辞に始まり、早稲田大学理工学術院長菅野重樹様にご挨拶を頂きました。続いて乾杯のご発声を元会長の川崎亮先生に頂き、歓談がスタートしました。立食形式での懇親会でしたので、皆様思い思いの場所に移動され、話に花を咲かせていました。また、歓談途中には、懇親会の恒例で参加頂いた学生さんの自己紹介を行い、緊張した面持ちで、自己アピールを行って頂きました。学生の方と会社の方々の名刺の交換や交流もあり、今後も懇親会の機会に続けていきたいと思っております。2 時間の楽しい時間はあっという間に終了しました。



2023 年度秋季大会は、10 月 19 日（木）～20 日（金）の 2 日間、同志社大学寒梅館にて開催予定です。なお、10 月 16 日（月）～18 日（水）の JSPMIC2023 に参加登録された方は、秋季大会の参加登録は不要です。JSPMIC2023 と併せ、多くの方にご発表・ご参加頂けることを心より願っています。

（小川 千賀子）